

日本ニュージーランド学会

Newsletter No.98

November 20, 2016



晩秋の候、会員の皆様におかれましてはご清栄のことと存じます。

10月8日には、大東文化大学で第75回研究会が開催され、雨の日にもかかわらず、会員の皆様にご参加いただきました。12月3日は、佛教大学にてNZ学会との共同研究会が開催されます。是非、ご参加ください。

.....

● 報告

1. 第75回研究会

第75回研究会(2016年10月8日(土))が大東文化大学にて開催されました。

第1報告 (14:00-15:00)

千手正治(常磐大学)

「我が国における犯罪被害者に対するワンストップ支援に係る対象罪種の拡大に関する一考察:NZにおける犯罪被害者支援から学ぶもの」

第2報告 (15:00-16:00)

Erina Ogawa (東洋大学)

'A New Zealander's perspective on Japanese university students' cultural identities'

第3報告 (16:10-17:10)

Alex Bennett (関西大学)

「フロレンス・ラマー：NZ初の女性柔術家」

● お知らせ

1. 第76回研究会 (NZ学会との合同研究会)

日時：2016年12月3日(土)

会場：佛教大学

住所：佛教大学紫野キャンパス(京都市北区紫野北花ノ坊96)常照ホール(図書館棟5階)

<<http://www.bukkyo-u.ac.jp/about/access/>>

開会挨拶 (13:30-13:35)

近藤真 (NZ学会会長)

基調講演 (13:35-13:55)

スティーブン・ベイトン (駐日NZ大使)

「最近のNZ事情」

第1報告 (13:55-14:35)

和田明子(酒田市副市長)

「ヘレン・クラーク論」

第2報告 (14:35-15:15)

山本英嗣(東京外国語大学)

「NZにおける女性参政権の歴史:憲法上の「市民権」概念との関連において」

——休憩 (15:15-15:25) ——

第3報告 (15:25-16:05)

太谷亜由美(関西大学)

「NZにおける子供のいる世界への援助政策とワークフェア」

第4報告 (16:05-16:45)

森島覚(追手門学院大学)

「NZセックスワーカー法改正の現状と課題」

質疑応答 (16:45-16:55)

閉会挨拶 (16:55-17:00)

山岡道男(日本NZ学会会長)

懇親会 (18:00-20:00)

*なお詳細につきましては、NZ学会の事務局(塩田晴康様: shiota1202@maia.eonet.ne.jp)へお問い合わせください。

*当日は、日本NZ学会理事会を佛教大学常照ホールにて12時より開催いたします。欠席の理事の皆様には、事務局へご連絡ください。

2. Order of Merit 受賞

本学会創設者であり、初代会長の小松隆二先生が、NZ政府より、“The New Zealand Order of Merit”を受賞されました。ここにお祝い申し上げます。叙勲の祝賀会は、2017年4月8日の第77回研究会終了後の午後5時より早稲田大学ファカルティ・クラブ(「森の風」:早稲田キャンパス、26号館大隈記念タワー15階)にて開催する予定です。

2. 『日本NZ学会誌』第24巻原稿募集

『日本NZ学会誌』第24巻の原稿を募集しております。執筆をご希望される方は、2月28日(火)

までに下記学会誌編集担当理事宛にお申し込み
ください。完成原稿の提出締め切り日は、**3月14日(火)**必着です。投稿規程の詳細につきましては、学会ホームページおよび学会誌の巻末をご参照ください。

提出先：澤田真一（学会誌編集担当理事）
〒036-8560 青森県弘前市文京町一番地
弘前大学 人文学部 国際社会コース
Mail: ssawada@hirosaki-u.ac.jp

3. 第77回研究会

日時：2017年4月8日（土）

場所：早稲田大学

*上記研究大会での報告者を募集しております。希望される方は、発表タイトルと抄録原稿（A4版1頁程度）を添えて**3月14日（金）**までに、事務局〈jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp〉へご連絡下さい。

● NZに関する新刊著書について

Ogino, Masayoshi, Penny Shino, and Dallas Nesbitt, eds. 2016. *Creating New Synergies: Approaches of Tertiary Japanese Programmes in New Zealand*. Auckland: Massey University Press.

*NZの高等教育での日本語教育の歴史は50年を迎えましたが、日本語教育の論文をまとめられた書籍の出版は初めての事です。

*会員の皆様により発刊されたNZに関する新刊著書・論文につきまして、ニューズレターにてご紹介させていただきます。掲載を希望する方は、著者名、書名、発行所、発行年月日（英語文献の場合は、CMS (Chicago Manual of Style に準拠) を事務局までお知らせください。

*連絡先：〈jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp〉

*書式例：

（著書）

小松隆二『ニュージーランド社会誌』東京：論創社，1996年。

（論文）

斎藤達雄「ニュージーランドに今を生きる」『ニュージーランド・ノート』（東北公益文科大学ニュージーランド研究所）第2号，2003年，1-8頁。

（英語論文）

Watanabe, Yutai. “New Zealand Attitudes towards Foreign-accented English.” *Te Reo* 51 (2008): 99-127.

● 既刊学会誌の閲覧

*J-Stage への移行に伴い、Cinii からデータの移動作業中です。本学会誌第23号につきましては、下記のサイトより閲覧可能です。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsnzs/-char/ja/>

● 学会費納入のお願い

2016年度（2016年4月1日-2017年3月31日）分の学会費（4,000円）の納入をお願いいたします。納付先は以下の通りです。

郵便振替 00130-3-425301 日本NZ学会

お納めいただいた年会費は、研究会や国際シンポジウムの開催、学会誌やニューズレターの発行、ホームページの運営等の活動事業に使用しております。学会の健全な財政維持のため、年会費未納の方は過年度分も含め、上記の口座にお振込ください。よろしくお願いたします。

日本ニュージーランド学会事務局：

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田 1-21-1

早大西早稲田ビル 6階 616室

山岡道男研究室内（事務局長：山本英嗣）

Tel: 03-5286-1872

Email: jsnzs_jimukyoku@jsnzs.sakura.ne.jp（事務局）

HP: <http://www.japan-nz-academic-society.org/>

